

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社デントス 上場取引所 東
 コード番号 6174 URL <http://www.dentas.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)河野 恭佑
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)大崎 隆 (TEL) (088)657-3115
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 —
 発行者情報提出予定日 2026年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	790	△13.4	△42	—	△43	—	△42	—
2025年3月期	913	6.2	7	—	10	—	28	—

(注) 包括利益 2026年3月期 △44百万円(—) 2025年3月期 31百万円(—)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△105 95	— —	—	△9.2	△5.3
2025年3月期	69 71	— —	403.2	1.9	0.8

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	440	3	△5.0	△485 06
2025年3月期	518	48	4.1	△379 11

(参考) 自己資本 2026年3月期 △21百万円 2025年3月期 21百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△38	△8	△17	62
2025年3月期	63	29	△48	127

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	— —	0 00	0 00	—	—	—
2026年3月期	— —	0 00	0 00	—	—	—
2027年3月期 (予想)	— —	0 00	0 00		—	

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なるA種類株式(非上場)については、配当を行いません。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	865	9.5	6	—	4	—	3	—	9 35

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 -社 除外 -社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	406,666株	2025年3月期	406,666株
2026年3月期	1,300株	2025年3月期	1,300株
2026年3月期	405,366株	2025年3月期	405,366株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、米国の関税政策による影響等があったものの、企業収益の改善に加えて個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られる等、緩やかな回復基調で推移する一方で、物価上昇の影響による今後の景気悪化懸念が依然残されております。

また、当社グループが事業を営む歯科関連業界及び日雑業界においても、原材料価格の高騰や労務費の上昇等により引き続き厳しい状況が続いております。

こうした事業環境のもと、当社グループは事業領域の拡大と同時に、歯科技工現場における原価圧縮施策等の経営合理化を行うとともに、当社グループの主力セグメントであるオーラルケア製品製造販売事業及びマウスピース矯正事業の拡大と利益の改善に注力してまいりました。

以上の結果、売上高につきましては、790,561千円（前連結会計年度比13.4%減）、営業損失は42,098千円（前連結会計年度は営業利益7,234千円）、経常損失は43,853千円（前連結会計年度は経常利益10,365千円）となりました。最終損益については、親会社株主に帰属する当期純損失は42,950千円（前連結会計年度は、親会社株主に帰属する当期純利益28,261千円）となりました。

今後も当社グループは顧客志向に徹した価値ある商品及びサービスの提供を通じて、歯科技工業界及び歯科業界並びに日雑業界の発展に努めてまいります。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

(歯科技工関連事業)

当セグメントの売上高は180,754千円(前連結会計年度比24.7%減)、セグメント損失33,242千円(前連結会計年度はセグメント損失34,352千円)となりました。

・歯科技工

主な売上である歯科技工物の製作については、競争の激化による受注件数の減少に加えて、同事業を営む有限会社マリデンタルの株式を前連結会計年度において譲渡し当連結会計年度より連結の対象外となったことにより、当連結会計年度における売上高については96,297千円（前連結会計年度比38.3%減）となりました。

・歯科技工商品・製品販売

一部商品について、原材料価格の高騰による販売数量の減少及び一部取引先からの受注減少により、当連結会計年度における売上高は37,475千円（前連結会計年度比21.5%減）となりました。

・歯科関連商品販売

AED他、歯科関連商品の販売増加により、当連結会計年度における売上高は46,981千円（前連結会計年度比30.3%増）となりました。

(オーラルケア製品製造販売事業)

子会社のアイオニック株式会社における、イオン歯ブラシ*を主とするオーラルケア製品の販売に

において、当セグメントの売上高は544,355千円（前連結会計年度比0.7%減）と横ばいに推移したものの、原材料価格の高騰等により利益率が低下し、セグメント損失は2,354千円となりました（前連結会計年度はセグメント利益20,561千円）。

*イオン歯ブラシ：内蔵されたリチウム電池から10～50マイクロアンペア（100万分の10～50アンペア）の微弱電流（マイナスイオン）を流して、虫歯・歯周病・口臭の原因となる「歯垢」を効率的に取り除く歯ブラシ

（マウスピース矯正事業）

マウスピース矯正事業においては、他の事業者の参入による競争激化により売上高が大幅に減少し、当セグメントの売上高は65,451千円（前連結会計年度比47.6%減）、セグメント利益は23,291千円（前連結会計年度比53.1%減）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産、負債および純資産の状況は、次のとおりであります。

（ア）流動資産

流動資産は312,952千円となり、前連結会計年度末と比較して、62,645千円減少（前連結会計年度末比16.7%減）しました。主な科目の増減及び増減理由は次のとおりであります。

・現金・預金が前連結会計年度末から64,797千円減少したことによるものであります。

（イ）固定資産

固定資産は127,876千円となり、前連結会計年度末と比較して14,595千円減少（前連結会計年度末比10.2%減）しました。主な科目の増減及び増減理由は次のとおりであります。

・有形固定資産が12,612千円減少しました。

これは主に、減価償却が進んだことによるものであります。

・無形固定資産が1,851千円減少しました。

これは主に、減価償却が進んだことによるものであります。

（ウ）流動負債

流動負債は289,133千円となり、前連結会計年度末と比較して28,094千円減少（前連結会計年度末比8.9%減）しました。主な科目の増減及び増減理由は次のとおりであります。

・買掛金が15,654千円減少しました。

これは主に、マウスピース矯正事業における売上減少に伴う仕入の減少によるものであります。

・1年内返済予定の長期借入金が8,004千円減少しました。

これは借入金の返済が進んだことによるものであります。

（エ）固定負債

固定負債は148,005千円となり、前連結会計年度末と比較し4,700千円減少（前連結会計年度末比3.1%減）しました。主な科目別増減及び増減理由は次のとおりです。

- ・長期借入金が8,665千円減少しました。
これは借入金の返済が進んだことによるものであります。
- ・退職給付に係る債務が前連結会計年度末から4,294千円増加しました。

(ウ)純資産

純資産は3,690千円となり、前連結会計年度末と比較して44,445千円減少しました。
これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失42,950千円の計上によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して64,797千円減少し、62,516千円となりました。
当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は38,678千円（前連結会計年度は獲得した資金は63,326千円）となりました。これは主に、減価償却費の計上23,069千円、棚卸資産の増加による資金の減少24,700千円、及び税金等調整前当期純損失の計上43,853千円などがあったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は8,550千円（前連結会計年度は獲得した資金29,011千円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出8,405千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は17,610千円（前連結会計年度は使用した資金は48,352千円）となりました。これは主に、長期借入れによる収入55,600千円があった一方で、長期借入金の返済による支出72,269千円などがあったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2027年3月期において、歯科技工関連事業については、引き続き新たな販売先の開拓と既存販売先からの受注拡大に注力するものの、歯科技工材料の高騰やそれに伴う原材料不足の影響等もあり、売上高は当面横ばいで推移するものと考えております。

また、オーラルケア製品製造販売事業については、新製品の開発と共に、日雑業界以外の新たな販路の開拓、SNS等を活用したマーケティングへの注力、海外展開の拡大等により収益の回復に努めてまいります。

また、マウスピース矯正事業については、競争の激化により契約数が低下しておりますが、当社の特徴である高品質なサービスの提供により、今後も提携クリニックの増加と顧客満足度の向上を目指し収益の回復に努めてまいります。

これらの結果、次期（2027年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高865百万円、営業利益6百万円、経常利益4百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3百万円を見込んでおります。

当社グループは、今後も顧客のニーズを最優先に考えることにより、顧客の満足度を高め長期的な関係を構築することを目指してまいります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度においては、親会社株主に帰属する当期純利益28,261千円を計上したものの、当連結会計年度においては営業損失42,098千円、経常損失43,853千円、親会社株主に帰属する当期純損失42,950千円を計上しております。

当該状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消し又は改善すべく、以下の対応策に取り組み、安定した収益基盤の確立、コスト削減および資金調達等による、財務基盤の強化を目指してまいります。

具体的には次のとおりであります。

1. 既存事業である歯科技工関連事業、オーラルケア製品製造販売事業及びマウスピース矯正事業の収益回復と利益率の向上を目指し、さらに新規事業として歯科関連ビジネスの立ち上げと育成にも努めてまいります。
2. イオン歯ブラシの製造販売を行っているアイオニック株式会社との連携によって、収益基盤の拡大とシナジー効果の創出に努めてまいります。
3. 主要取引先であり、前述のアイオニック株式会社への共同出資を実施した株式会社シケンと引き続き緊密に連携し、収益拡大を図ってまいります。
4. 人件費を含めた経費の全面的見直しを実施、不採算部門の縮小等リストラチャリングを積極的に推進し、キャッシュ・フローの最大化を目指してまいります。
5. 財務状態の改善を目指し、新たなファイナンスの検討を実施、同時に借入金等その他の資金調達についても進めてまいります。

以上の対応策を中心とした経営の効率化を図り、安定的な収益基盤を構築すべく努めてまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上であり、計画が全て順調に推移するとは限らず、不測の事態も考えられることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結財務諸表には反映しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、海外からの資金調達を行っていないことから、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	127,314	62,516
受取手形及び売掛金	87,987	67,691
電子記録債権	21,091	21,679
商品及び製品	36,063	49,312
仕掛品	4,876	6,522
原材料及び貯蔵品	84,367	94,506
その他	21,030	17,558
貸倒引当金	△7,132	△6,834
流動資産合計	375,598	312,952
固定資産		
有形固定資産		
建物	205,847	206,447
減価償却累計額	△154,282	△158,397
建物(純額)	51,565	48,050
機械装置及び運搬具	392,067	392,067
減価償却累計額	△381,205	△386,251
機械装置及び運搬具(純額)	10,862	5,816
工具、器具及び備品	370,664	377,269
減価償却累計額	△346,941	△356,741
工具、器具及び備品(純額)	23,723	20,528
リース資産	7,284	7,284
減価償却累計額	△6,428	△7,284
リース資産(純額)	856	—
土地	41,500	41,500
有形固定資産合計	128,506	115,894
無形固定資産		
ソフトウェア	7,605	5,754
借地権	4,900	4,900
無形固定資産合計	12,505	10,654
投資その他の資産		
破産更生債権等	122,832	122,982
その他	1,459	1,328
貸倒引当金	△122,832	△122,982
投資その他の資産合計	1,459	1,328
固定資産合計	142,471	127,876
資産合計	518,070	440,829

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	46,401	30,747
短期借入金	150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	59,617	51,613
リース債務	941	—
未払金	19,491	21,866
未払法人税等	823	901
未払消費税等	10,849	1,190
前受金	6,222	106
賞与引当金	9,147	9,452
その他	13,734	23,256
流動負債合計	317,228	289,133
固定負債		
長期借入金	122,671	114,006
繰延税金負債	3,424	3,093
退職給付に係る負債	24,570	28,865
資産除去債務	2,040	2,040
固定負債合計	152,705	148,005
負債合計	469,934	437,139
純資産の部		
株主資本		
資本金	67,984	67,984
資本剰余金	30,000	30,000
利益剰余金	△76,844	△119,794
株主資本合計	21,140	△21,810
非支配株主持分	26,995	25,500
純資産合計	48,136	3,690
負債純資産合計	518,070	440,829

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	913,073	790,561
売上原価	601,242	534,940
売上総利益	311,830	255,621
販売費及び一般管理費	304,596	297,719
営業利益又は営業損失(△)	7,234	△42,098
営業外収益		
受取利息	53	182
受取配当金	2	1
作業くず売却益	8,380	3,730
その他	2,932	755
営業外収益合計	11,368	4,669
営業外費用		
支払利息	6,991	5,950
その他	1,245	473
営業外費用合計	8,237	6,425
経常利益又は経常損失(△)	10,365	△43,853
特別利益		
子会社株式売却益	22,387	—
特別利益合計	22,387	—
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	32,753	△43,853
法人税、住民税及び事業税	1,279	922
法人税等調整額	△330	△330
法人税等合計	948	592
当期純利益又は当期純損失(△)	31,804	△44,445
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	3,543	△1,495
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	28,261	△42,950

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	31,804	△44,445
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	—
その他の包括利益合計	—	—
包括利益	31,804	△44,445
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	28,261	△42,950
非支配株主に係る包括利益	3,543	△1,495

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	67,984	30,000	△105,105	△7,120
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純利益			28,261	28,261
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	28,261	28,261
当期末残高	67,984	30,000	△76,844	21,140

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	23,452	16,331
当期変動額		
親会社株主に帰属する 当期純利益		28,261
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	3,543	3,543
当期変動額合計	3,543	31,804
当期末残高	26,995	48,136

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	67,984	30,000	△76,844	21,140
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△42,950	△42,950
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	△42,950	△42,950
当期末残高	67,984	30,000	△119,794	△21,810

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	26,995	48,136
当期変動額		
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)		△42,950
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,495	△1,495
当期変動額合計	△1,495	△44,445
当期末残高	25,500	3,690

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	32,753	△43,853
減価償却費	23,828	23,069
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,757	△147
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,980	305
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,233	4,294
受取利息及び受取配当金	△56	△183
支払利息	6,991	5,950
子会社株式売却益	△22,387	—
売上債権の増減額(△は増加)	37,826	19,707
棚卸資産の増減額(△は増加)	17,196	△24,700
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,160	△15,654
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△878	△150
その他	△7,105	△708
小計	72,465	△32,070
利息及び配当金の受取額	56	183
利息の支払額	△8,171	△5,946
法人税等の支払額	△1,023	△844
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,326	△38,678
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,287	△8,405
無形固定資産の取得による支出	△5,886	△200
長期貸付金の回収による収入	60	55
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	46,124	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,011	△8,550
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	—
長期借入れによる収入	7,500	55,600
長期借入金の返済による支出	△104,440	△72,269
リース債務返済による支出	△1,412	△941
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,352	△17,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	41
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	43,978	△64,797
現金及び現金同等物の期首残高	83,335	127,314
現金及び現金同等物の期末残高	127,314	62,516

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度においては、親会社株主に帰属する当期純利益28,261千円を計上したものの、当連結会計年度においては営業損失42,098千円、経常損失43,853千円、親会社株主に帰属する当期純損失42,950千円を計上しております。

当該状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消し又は改善すべく、以下の対応策に取り組み、安定した収益基盤の確立、コスト削減および資金調達等による、財務基盤の強化を目指してまいります。

具体的には次のとおりであります。

1. 既存事業である歯科技工関連事業、オーラルケア製品製造販売事業及びマウスピース矯正事業の収益回復と利益率の向上を目指し、さらに新規事業として歯科関連ビジネスの立ち上げと育成にも努めてまいります。
2. イオン歯ブラシの製造販売を行っているアイオニック株式会社との連携によって、収益基盤の拡大とシナジー効果の創出に努めてまいります。
3. 主要取引先であり、前述のアイオニック株式会社への共同出資を実施した株式会社シケンと引き続き緊密に連携し、収益拡大を図ってまいります。
4. 人件費を含めた経費の全面的見直しを実施、不採算部門の縮小等リストラクチャリングを積極的に推進し、キャッシュ・フローの最大化を目指してまいります。
5. 財務状態の改善を目指し、新たなファイナンスの検討を実施、同時に借入金等その他の資金調達についても進めてまいります。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 2社
株式会社DSソリューション
アイオニック株式会社

2. 連結子会社の事業年度等に関する事項

すべての連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「歯科技工関連事業」、「オーラルケア製品製造販売事業」及び「マウスピース矯正事業」の3つを報告セグメントとしております。「歯科技工関連事業」は提携歯科技工所及び歯科クリニックから依頼される歯科技工物の製作受注を中心に、歯科技工関連商品（歯科技工材料、

歯科技工機械)の販売も実施しております。「オーラルケア製品製造販売事業」は、イオン歯ブラシの製造販売を中心に、オーラルケア製品の製造販売を行っております。また「マウスピース矯正事業」はマウスピース矯正サービスを提供する提携歯科クリニックに対し、マウスピース等の歯科技工製品に関する技術的アドバイス及びサポート業務を実施しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	歯科技工関連 事業	オーラルケア 製品製造販売 事業	マウスピース 矯正事業			
売上高						
歯科技工	156,184	—	—	156,184	—	156,184
歯科技工商品・製品販売	47,744	—	—	47,744	—	47,744
歯科関連商品販売	36,055	—	—	36,055	—	36,055
オーラルケア製品製造販売	—	548,265	—	548,265	—	548,265
マウスピース矯正	—	—	124,823	124,823	—	124,823
顧客との契約から生じる収益	239,984	548,265	124,823	913,073	—	913,073
その他収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	239,984	548,265	124,823	913,073	—	913,073
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
合計	239,984	548,265	124,823	913,073	—	913,073
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△34,352	20,561	49,689	35,898	△28,664	7,234
セグメント資産	112,321	404,670	—	516,991	1,078	518,070
その他の項目						
減価償却費	4,875	18,953	—	23,828	—	23,828
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	7,583	9,590	—	17,173	—	17,173

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△28,664千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2)セグメント資産の調整額1,078千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない子会社の現預金であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	歯科技工関連 事業	オーラルケア 製品製造販売 事業	マウスピース 矯正事業			
売上高						
歯科技工	96,297	—	—	96,297	—	96,297
歯科技工商品・製品販売	37,475	—	—	37,475	—	37,475
歯科関連商品販売	46,981	—	—	46,981	—	46,981
オーラルケア製品製造販売	—	544,355	—	544,355	—	544,355
マウスピース矯正	—	—	65,451	65,451	—	65,451
顧客との契約から生じる収益	180,754	544,355	65,451	790,561	—	790,561
その他収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	180,754	544,355	65,451	790,561	—	790,561
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
合計	180,754	544,355	65,451	790,561	—	790,561
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△33,242	△2,354	23,291	△12,304	△29,793	△42,098
セグメント資産	63,950	376,331	—	440,281	548	440,829
その他の項目						
減価償却費	3,600	19,469	—	23,069	—	23,069
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,829	6,775	—	8,605	—	8,605

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△29,793千円は、各報告セグメントに配分していない
 全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2)セグメント資産の調整額548千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資
 産は、主に報告セグメントに帰属しない子会社の現預金であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	△379.11円	△485.06円
1株当たり当期純利益又は 当期純損失(△)	69.71円	△105.95円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
1株当たり純資産額		
純資産の部の合計額(千円)	48,136	3,690
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	201,814	200,319
(うち種類株式の払込金額(千円))	(174,818)	(174,818)
(うち非支配株主持分(千円))	(26,995)	(25,500)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	△153,678	△196,629
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	405,366	405,366

3 1株当たり当期純利益又は当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益又は当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	28,261	△42,950
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	28,261	△42,950
普通株式の期中平均株式数(株)	405,366	405,366
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の 概要	—	—

4 1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、1,300株であります。

また、1株当たり当期純利益又は当期純損失の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、1,300株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。